

## 令和2年度 第1回 運営推進会議開催状況報告書

事業所名	梨雲苑デイサービスセンター			
開催日時	令和2年9月24日(木) 13時20分～14時20分			
開催場所	特別養護老人ホーム 梨雲苑 研修室(富山市吉作1725番地)			
参加者	地域住民代表者	2名	知見者、民生委員等	1名
	利用者(家族)代表者	1名	事業所職員	5名
	行政職員	1名	その他(地域包括)	1名
議題	1. 事業所の現状について			
	2. その他(前回のご意見などについて)			
<b>会 議 録</b>				
<b>&lt;第1号議案&gt; 事業所の現状</b>				
・4月から職員の入れ替わりあり				
異動についてはマンネリ化を防ぎ、活性化のため行った。				
・利用者数				
認知症対応型：コロナ禍でも安定した数字である。8月は14日・15日とお盆休みだったため、延利用者数は少ないが、一日平均人数は昨年と変わらず。				
・コロナ禍でのデイサービスの対応として				
時間短縮営業：午前・午後と分け、午前利用の方にはデイで昼食を提供するのではなくお弁当を持ち帰っていただく。午後利用の方にはデイで昼食を提供する。(認知症対応型の利用者様は希望があれば、一日利用可能とした。)				
分散営業：隣のスペースでご利用いただいている通常規模型の利用者様は機能訓練室とデイルームの2か所に分かれてご利用いただく。結果、認知症利用者様の利用スペースも密を回避することができた。				
コロナ関連でお休みされている利用者様(認知症対応型：3名、通常規模型32名)にハガキを出す。現在、利用者様、家族様ともに感染者はなし。コロナで大きな影響はあったが元に戻ってきている。				
<b>ご意見やご質問</b>				
※認知症対応型の収入は増えているのに、なぜ通常規模型は減少しているのか。				
→認知症対応型の利用者様は一人で過ごすことが難しいが、通常規模型、特に要支援の方は一人で過ごすことができるからと休まれていたため利用者数が減少し、収入も減少した。				
※デイサービスを利用したほうがいいと思われる方がいるが、本人が乗り気でなくなかなか				

行ってくれない。どうしたらいいか。
→女性は地域の繋がりがあり、近所の方に誘われてデイサービス利用に繋がることがあるが、
男性は仕事をしていたため地域との繋がりが少ない場合が多く、なかなか利用に繋がりにく
いところがある。まずは地域包括支援センターに相談してもらえたらと思う。
※コロナ禍で閉じこもりになり鬱状態になる方はいなかったのか。
→梨雲苑デイではなかったが、もう少し休まれる期間が長かったら分からなかった。閉じ
こもりや他者との交流を途絶えないようにするためにハガキを出し、ケアマネと連携し電話
にて状態確認を行った。
※認知症対応型と通常規模型の違いを教えて欲しい
→介護認定は認知症対応型も通常規模型も変わりはない。梨雲苑では主治医意見書の認知症
自立度を一つの目安としている。認知症対応型は手厚い介護を行うために、人員配置が手厚
く設定されている。
※運営推進会議について、コロナ禍の中、なぜ今回運営推進会議を開催しようと思ったのか。
→コロナ禍であっても運営推進会議は必要なものなので、開催することを決断した。開催に
あたっては出席者のマスクの着用、ソーシャルディスタンス、健康チェックを徹底している。
半年に1回の開催で、6月開催だと難しかったが、今現在は富山県内のコロナ感染も落ち
着いているため今回開催することができた。
・感染予防対策について
梨雲苑デイサービスでは3密を回避しマスク着用、換気、消毒の徹底を行っている。
各テーブルにはパーテーション（アクリル板）を設置している。レクリエーションでは、
コロナ前では集団で集まって実施していたが、6月からは密にならないように各テーブルで
個々に行える内容を考え実施している。
※コロナ禍でも何も行わない訳にはいかない。地域でもゲートボール大会を実施したところ
認知症の方も参加していたが18ホール回れた。地域一体となり認知症の方への声掛けや外に
出ていく機会を作る、誰が交流の場を設けるのかなど考えていく必要がある。
→カラオケの貸出しも一時期は減少していたが今は増えてきている。カラオケ以外にも
新たな地域貢献活動を地域かがやきアドバイザー深野課長を中心に考えていく。
※デイ広報誌「まいどはや」13号の表紙の「花を目にされると皆さん自然と笑顔がこぼれ
ますね」との言葉の表現がとてもいい。
<b>&lt;第2号議案&gt; その他（前回のご意見などについて）</b>
・高齢者でも参加できるスポーツ案があれば教えてほしい（以前の検討事項）
（地域かがやきアドバイザー課：深野課長からの伝言）3密を避ける必要性もあるため

<p>先ずは週に1～2回、世間話を目的に少人数でウォーキングや散歩に参加し地域の輪を広げる</p>
<p>ところから始めてはどうか。</p>
<p>・地域の方に声を掛ける重要性を感じている。深野課長には地域と法人の架け橋となり、</p>
<p>これからも地域の方の活動に貢献していただきたい。</p>
<p>・梨の風弁当について、</p>
<p>昨年10月から開始。開始当初の対象は独居・高齢者世帯のみだったが、7月よりショート利用者、</p>
<p>独居・高齢者世帯以外の世帯も対象となし、対象の幅が広がった。以前は一日10食ほどだった</p>
<p>が、今では一日14.3食と増え多くの方の為になっているのではないと考えられる。</p>
<p><b>ご意見やご質問</b></p>
<p>※梨の風弁当の利用数が増えたのはPRが良かったからではないか。施設内で作れることも</p>
<p>とても良い事なので、これからも続けて行ってほしい。一日に作れる弁当の数はいくつなのか。食品が無駄になることはないのか。</p>
<p>→必要な数は前日には分かるため、食品が無駄になることは今のところない。一日に提供できる数は20食ほど。</p>
<p>夏場の持ち帰りでも特に問題なかった。今はデイの送迎時に一緒に持ち帰りしているが、</p>
<p>今後は配達方法も検討していきたい。</p>
<p>※コロナ禍で祭りや花火が全て中止になり楽しめる行事がなかった。少しでも喜んでもらいたく、老田地区の稲刈りが終わったので9/26（土）19：15から51発の花火を打ち上げる予定。</p>